

平成 22 年 3 月 3 日

各 位

会 社 名 協和発酵キリン株式会社
代表者名 代表取締役社長 松田 譲
(コード番号:4151 東証第一部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
久我 哲郎
(TEL 03-3282-0009)

会 社 名 ソレイジア・ファーマ株式会社
代表者名 代表取締役社長
スティーブ・エンゲン
問合せ先 事業開発部
(TEL 03-6721-8332)

SP-01(グラニセトロン経皮吸収型製剤、米国での販売名:Sancuso®)の ライセンス契約締結のお知らせ

協和発酵キリン株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長:松田 譲 以下「協和発酵キリン」とソレイジア・ファーマ株式会社(東京都港区、代表取締役社長:スティーブ・エンゲン 以下「ソレイジア・ファーマ社」)は 2010 年 2 月 22 日、台湾、香港、シンガポールおよびマレーシアにおける、SP-01(グラニセトロン経皮吸収型製剤、米国での販売名:Sancuso®、サンキューソ)※1の独占的販売権に関して、ライセンス契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本契約にしたがって、協和発酵キリンは、ソレイジア・ファーマ社に、契約一時金、承認および販売額に応じたマイルストーンを支払います。協和発酵キリンがライセンスを受けた国・地域でのすべての販売・マーケティングを担当し、ソレイジア・ファーマ社が製品を供給いたします。

Sancuso®(サンキューソ)は、現在商品化されている最初で唯一の作用持続性グラニセトロン経皮吸収型製剤です。米国において、化学療法に伴う悪心・嘔吐(CINV:chemotherapy-induced nausea and vomiting)に対する治療薬として 2008 年に承認され、上市されています。2008 年 5 月に、ソレイジア・ファーマ社はプロストラカン社より、日本、中国、台湾、香港、シンガポールおよびマレーシアの権利を獲得いたしました。ソレイジア・ファーマ社は、現在臨床試験を実施しております、日本および中国におけるすべての権利を引き続き保有いたします。

以上

※1:SP-01/Sancuso®について

SP-01 (Sancuso®、サンキューソ)は、作用持続性のグラニセトロン経皮吸収型製剤であり、制吐作用を示すグラニセトロンを数日間にわたり血中に放出させることが可能です。グラニセトロンは 5-HT₃ 受容体拮抗薬であり、化学療法に伴う悪心・嘔吐への有効性が立証されています。プロストラカン社は、本剤に関して 2008 年 9 月 12 日に米国食品医薬品局(FDA)から許可を取得し、2008 年第 4 四半期に、米国での販売を開始いたしました。SP-01 にかかわる特許はすでに EU(2007 年)、日本(2008 年)および米国(2009 年)で成立しております。

ソレイジア・ファーマについて(<http://www.solasia.co.jp>)

ソレイジア・ファーマ株式会社は、アジアにおけるがん領域のアンメットニーズに応えるため、MPM キャピタルと伊藤忠商事株式会社の共同出資により、2006 年 11 月に設立されました。ミッションは、日本、中国ならびに他のアジア諸国において、臨床開発と独自の販売戦略により、がん領域の革新的な医薬品を迅速に患者さんにご提供することです。現在までに約 16 億円の資金調達を行っております。

協和発酵キリンについて(<http://www.kyowa-kirin.co.jp>)

がん、腎、免疫疾患を中心とした領域で、抗体技術を核とした最先端のバイオテクノロジーを駆使して、画期的な新薬を継続的に創出し、開発・販売をグローバルに展開することにより世界の人々の健康と豊かさに貢献する、日本発のグローバル・スペシャリティファーマを目指すライフサイエンス企業です。